

玄武岩の玄さんが堅いテーマも梁らかく解説

豊岡のこころは目じゃ！ 30

辰鼓楼 平成の大修理って？



谷山川に出石焼の風鈴を聴きに行ったんだけど、辰鼓楼がシートで覆われてて... どうしちゃったの？

大がかりな修理をしとるところじゃ。長い間、雨や風にさらされて、外側に貼ってある木の板が傷んできたり、中の柱が少しずつ傾いてきたらのお。前回の大修りは、昭和3〜4年にしたらしいで、およそ90年ぶりじゃ。

何のために、あんなに大きな建物を作ったの？

辰鼓楼は、今から146年前の明治4年に完成したんじゃ。江戸時代には、お寺の鐘で城下町に時刻を知らせとったが、明治時代になって、太鼓で時刻を知らせるようになった。これは想像じゃが、より高いところで太鼓を鳴らした方が皆に聞こえろと考え、今の高さの辰鼓楼が作られ、その最上階で太鼓をたたいて時刻を知らせたんかの。

私は太鼓をたたいているところを見たことないなあ。

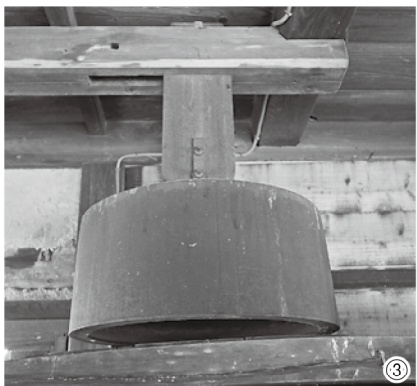
辰鼓楼が建つてから10年後の明治14年に、出石のお医者さんから寄付された時計を取り付け、今のようない計台に生まれ変わったんじゃ。実は札幌市時計台と辰鼓楼は、同じ年に時計が取り付けられた。日本最古の札幌市時計台と同級生「なんじゃ」。

大修理って、どんなところを直しているの？

「外側の板」は、全部取り替えるぞ。中の柱や横に

新しくなった辰鼓楼を早く見たいな。

10月中には、修理工事は終わる予定じゃ。11月3日(金)の出石お城まつりでは、きれいになった辰鼓楼を見られると思うぞ。



①シートで覆われた辰鼓楼②柱の下には空洞が③時計設置当時に使われていたと思われる鐘